

教育裏街道を行く

田所 金久

退職後、予備校で講師を  
していると言ふと変な顔を  
する人が時々いる。確かに  
、受験産業などの存在しな  
い社会の方が幸せな社会で  
あろう。自主的に勉強でき  
ないように育ててしまった  
結果の必要悪かもしれない  
まあ、この世界は教育裏街  
道だろう。しかし、この裏  
街道を生き抜く先生方は、  
その道のプロとして誠実に  
働き、生徒に対する態度は  
親切・熱心である。講師の  
先生に対する待遇や態度も  
公立高校の時間講師よりは  
ましだろう。

人格形成がこの目的では  
なく空しさもある。しかし、  
この学習もまた人格形成  
に大きく寄与していること  
は間違いでない。「知」とは  
本質的にそういう力をもつ  
ている。現実には、授業は無  
味乾燥なものでは決してな  
い。私が日本史や政経を教  
えているという「年代表」  
の暗記ばかりをさせている  
のか」という質問をした方  
もいた。しかし、そんな授  
業をしていたら次の日から  
生徒がいなくなるだけだろ  
う。生徒は受験のテクニッ  
クだけではない、質の高い  
授業を求めている。それに  
応えられなければ教師は失  
格である。

りのままに、リアルに見つ  
め、その要求に添えていか  
なければならぬだろう。  
今の自分の生活は、もち  
ろん授業だけではなく、畑  
を耕したり、卓球の世話を  
したり、「育てる」ことに  
つながる生活をしている。  
その中で、改めて教育のこ  
とを考へてみたい。自然と  
共に暮らしたり、農業をし  
たり、旅をしたり、時間的  
にはゆとりのある暮らしを  
する。それは退職後の楽し  
みであることは間違いない。  
しかし、職業としての教師  
の生活は終わっても、民主  
教育の確立のため闘い、研  
究を続けてきた「研究者」  
としての生活は死ぬまで統  
けられるべきものだろうと  
考える。高退協の原点もそ  
こにあるだろうと思う。し  
ばらく、「裏街道」を歩き  
ながら研究を深めてみたい  
と思っている。



相撲三知識 二十六  
林 勤

大相撲を支える人々(2)

親方(2)

親方の給与  
(平成10年1月より)

Table with 2 columns: 区分 (Category) and 給与 (Salary). Rows include 理事 (Director), 監事 (Supervisor), 委員 (Committee Member), 参与 (Participant), 主任 (Chief), and 常勤年寄 (Regular Yearly Elder).

※この他に「役員待遇」が  
あり、給与等は理事又は監  
事と同等額とする、となっ  
ている。

「卯月句会」  
お婉堂・鏡野公園

キャンパスの池の広さや蝶渡る さちを  
山映し山を繋ぎて代田播 さちを  
芽吹きたる梢に煉瓦の時計台 伸 秋  
女丈夫のこゝに眠るや散る桜 伸 秋  
「灌仏会吟行」  
甘茶もて己が腸灌がまし 伸 秋  
欄に猫ものうげや仏生会 伸 秋  
傍らに猫もかしこみ花御堂 さちを  
ひもすがら和讚奏楽灌仏会 さちを

○親方の役職名(階級)、  
給料、職務分掌  
親方の役職名と給料は別  
表の通りである。  
理事と監事が役員といわ  
れ、定員は相撲協会の規則  
第二十八条で理事十名(うち  
理事長一名)、監事三名  
となっているが、その他の  
役職については、規則で定  
められた定員はない。  
役員の出選は立候補制で、

立候補者が定員を超える場  
合は、評議員による単記無  
記名投票を行う。評議員と  
は親方全員と、おのおのの  
互選により選出された力士  
四名、行司二名である。  
今年一月の改選時の立候  
補は理事十一名、監事三名  
で、理事は選挙、監事は無  
投票で決まった。  
理事長は理事の互選で決  
める。因みに、現理事長は  
東京農大・昭和三十五年の  
学生横綱から翌年角界入り  
した元大関豊山の時津風親  
方である。  
役員改選は二年に一度、  
一月場所後に行われるが、  
今年改選の年であった。  
役員以外については、理事  
会の選挙を経て理事長が任  
命する。任期は役員は二年、  
その他は二年又は一年であ  
る。  
別表の給料は、相撲協会  
から支給されている公式発  
表のものであるが、部屋持  
ちの親方には部屋の幕下以  
下の力士に力士養成費が支  
給されているので、その方  
の収入もかなりあるとか。  
また、他に収入もあるよう  
にも聞くが、よう調べてい  
ない。調べても正確な額は  
わからないであろう。  
規則三十七条に「理事は  
次の職名により業務を分掌  
する」とある。職名とは、  
指導普及部長、生活指導部  
長、事業部長、審判部長、  
地方場所部長(名古屋、大  
阪、福岡の各場所、三人)、  
巡業部長、相撲教習所長、  
相撲競技監察委員長である。  
理事長が決めらるることになっ  
ている。委員以下の親方は、  
夫々の部署に配置される。  
本県出身の若松親方(元  
大関朝潮)は審判部委員で  
ある。また、木村庄之助は  
行司代表の評議員である。

### 参議選最終段階へ

(高退協のとりくみの現状)

#### (1) 「とりもどす会」への資金カンパ

4月末現在、58名の方より96,000円が提出されています。目標30万円の32%で内訳は、1万円1口、5千円1口、3千円3口、2千円19口、1千円34口となっています。

いろいろなルートで提出されているかも知れませんが、高退協も「とりもどす会」の一員として財政的責任を果たさねばなりません。積極的なご協力をお願いします。

#### (2) 「無党派の挑戦」の購読、普及

栗原さんと西岡さんの共著になるこの本は、読者の感動をよび参議選に大きなはずみをつけています。高退協も購読運動に参加、50冊を目標に普及にとりくみ、現在23冊を販売しています。ご希望の方は声をかけて下さい。

(事務局)

## 参議選に思う



来るべき

### 参議院選挙によせて

富永三雄

土佐路の桜は散った。しかし土佐では「自由民権は土佐の山間より」の言葉がある。今も土佐の山並の空高く渦巻いていく。他に例を見ないひとつのローカリズムに郷土愛を覚える。土佐ではさまざまの奇蹟が生まれていく。一昨年の秋の衆議院選挙、共産党をなきものにせんとした自民党の計画は破れた。高知一区

で山原さんが三万四千票で第一位。比例代表区の春名さんも当選させた。一五〇億年前の天地創造のビッグパンの得票は、山原さんが最初の教育委員会委員に出馬した時の全県で獲得した票と同じである。山原党一無党派の票が百万票を大きく超えていた。余り好きな表現ではないが無党派党は賢明で自主的な文化人であり、世間をよく知った正直な好々爺の人々である。今自民党は党内から橋本を退陣させよの声が上がっている。経済政策に対する批判不満である。消費税5%を強硬しておきながら、補正予算では一時的な特別減税で逃げをうつ。老人医療改悪で老人たちは病院に行くことを差控えている。花のバリエーションをくまなく刈り取るのと同じことだ。或る議員は公然と首相に辞職を迫る。財界も同意見と言う。真つ黒い髪のお首の苦渋ありあり。退陣も近い。しかし自民党を去るわけにはいくまい。

八十四の老人あり。共産党歴がありますよ。朝鮮南北戦争の前年一月十九日、毛利孟夫さんから三日に亘って榎村の話聞いて入党した。当時の選挙で森田正喜さんが苦戦していた。選挙立合人にも事を欠いていた、俺が出てやると母の小学校に行つた。母が涙を流しながら「何と云うことをするぞね、今日から家に帰るな」と言つた。真剣そのものであったが、腹を決めて笑つていた。来年で五十年になる。今度、党は社会党除名の西岡さんを推薦する。彼女が社会党の党是を守り、原則を貫いたからだろう。私は「高知」の声を広場に社会党の幹部の非を訴えた。ジャーナリズムはこうした争いは避けるのが普通だが、私の原稿を没にはしなかつた。所謂無党派が居たかも知れない。嬉しかった。植木枝盛も地下で土佐は違う。わいと喜んで居るだろう。皆さん、明治の先駆者を泣かさなうように頑張りをきましよう。

### 参議院選挙の勝利で

民主教育の再生を

湯浅 秀夫

政・官・財ぐるみの不正・腐敗・ワイロなどが毎日のように報道されている。その一方で、未曾有の不況・不景気、消費税・医療費の値上げ、社会保障制度・年金制度の改悪が続々と押し寄せている。こうした腹立たしい自民党の悪政に我々のような年寄りだけでなく、大多数の国民は怒っている。また学校教育への政治の介入も激しい。本県でも去る三月議会でも、既に内定している現職教員の高知大学大学院の留学にストップをかける決議を、自民党などの多数は強行した。さらに最近、埼玉・所沢高校での「二つの入学式」の問題がある。私も現職時代からよく知っているが、所沢高校は「自由・自主・自立」の気風のもとで、生徒の自主的活動の優れた伝統をもっている。それゆえに、昨年そして今年の卒業式、入学式に当たって、生徒達は意見を重ね合意して、「卒業記念祭」「入学を祝う会」を、教職員PTAの支持のもとで開いたのだ。しかし県教委の意向を受けた校長は「生徒は指導の対象」として、生徒との話し合いを拒絶し、形だけの「式典」を強行した。これに対して自民党幹部らは、「共産党の破壊工作の現れだ」と、全く見当外れの反共発言をして、文部省、県教委をバックアップしている。

参議院選挙は、後二カ月余に迫った。悪政の被害から国民の生活を守り、憲法・教育基本法にもとづく民主教育を取り戻すための絶好の機会である。先の県議補欠選挙でのトップ当選をバネに、日本共産党の躍進と全国注視の的、西岡候補者の歴史的勝利に全力をつくそう。

